



(2019-20年度 国際ロータリー・テーマ)



ロータリーは
世界をつなぐ



「好文亭」(水戸市)

化ける中年

杉本 健 (生命保険業)

この原稿は丁度私が50歳になる直前に書いておりますので、人生100年時代の折り返しとも言える50歳を迎えるにあたっての、今の心境や心積りのようなものを書かせていただきたいと思います。とは言っても文才も表現力も乏しいものですから、何か他の人の言葉で言い表せられないかと探してみたところ、古いファイルの中からピッタリのものを見つけました。それは私がかつての上司から頂いた、第一生命に入社した当時の社長、櫻井孝頼の講話録で、中堅管理職を対象とした研修の中で話をされた時のものです。ちなみに櫻井は文豪家としての横顔も持っており、ユーモアセンス溢れる話は当時新入社員でありながら楽しみに伝え聞いていたのを覚えています。以下、一部抜粋したものを掲載させていただきます。

～さて、最近中年で大化けした人をひとりだけあげるとすれば、私は将棋の米長名人をあげたい。米長邦雄さんは史上最高齢で名人位を奪取した人です。記憶力、体力、すべて

の面で若手に劣るこの人がどうやって名人位を得たのか。彼が最近書いた『中年男のリストラについて』という新聞記事で、「中原のすばらしさは、毎年錆を落としてくるところにある。永く王座を保つために、常に自分自身のリストラを考えている」と言っています。錆を落とすことを米長は『HOKORI』を落とすと言っています。

HOKORIを、PRIDE(誇り)とDUST(ゴミ)の両方に懸けています。

「自分はこういった錆を落とさないままやってきた」と反省して、コンピューターで解析していた中原の棋譜もゴミだとして全部捨てた。そして名人位を獲得したのです。

『女神は強運の者の上にはほほえむのではなく、女神は常に新鮮な者の上にはほほえむのだ』ということに初めて気づいた」と書いています。なかなか含蓄のある言葉だと思います。～

私も身体に付いた錆をしっかりと落とし、新鮮な心と体で50代を迎えようと、たった今決心しました。

No. 30 2020・2・18

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 高沢 彰 ■幹事 片岡 宗厳

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>



プロフィール

- 1998年 弘前大学医学部医学科卒業
弘前大学医学部附属病院研修医
- 1999年 弘前大学医学部神経精神医学教室入局
- 2003年 弘前大学大学院医学研究科卒業
帝京大学医学部附属溝口病院精神科助手
- 2008年 東京医科大学霞ヶ浦病院（現茨城医療センター）精神神経科講師
- 2015年 証クリニック神田副院長
- 2016年 証クリニック神田院長
- 2019年 研究学園ななほクリニック開設

漢方は日本独特の医学である。こう断言すると、「いや、漢方は中国の医学だから、それは間違いだらう」という反論を頂きそうです。

私が漢方を日本独特の医学と断言する理由は次の3つです。漢方という呼称が日本だけの呼び方であること、漢方エキス製剤は日本発祥であること、診察法が日本と中国とで異なることの3点です。

ご想像の通り、漢方医学のルーツは中国です。6世紀ごろまでは医学知識は朝鮮半島を経由して伝来しました。7世紀以降は、遣隋使、遣唐使を通じて中国から直接伝わるようになりました。室町時代には、田代三喜とその弟子である曲直瀬道三が金元時代の医学を広めました。江戸時代に古方派が勃興するまでは、この金元医学を学んだ流派が主流でした。この流派を後世派と呼びます。江戸時代中期以降、観念論や空論を排して、傷寒論に立ち帰ろうと主張する流派が台頭します。これを古方派と呼びます。古

方派の一人である吉益東洞は万病一毒説を唱えます。吉益東洞は多くの弟子を育て、当時の医学界の主流となりました。この吉益東洞が世に出るきっかけを作ったのは東洞の師匠である山脇東洋です。山脇東洋の息子さんが山脇東門です。山脇東門は、水戸と浅からぬご縁があります。水戸藩侍医原南陽先生が山脇東門に弟子入りして医学の修業をしているのです。

そのほか、古方派と後世派両方の長所を取り入れた折衷派や、古今の文献について恣意的な解釈を排して考証する考証派と呼ばれる学派が生まれました。やがて、幕末に西洋の知識が大量に流入するようになりました。これを蘭学と呼びました。そして蘭学の中で、医学を蘭方、それに対して今まで日本で発展してきた医学を漢方と呼ぶようになったのです。中国で日本の漢方に相当する医学は中医学と呼ばれます。つまり、中国では漢方とは呼ばないのです。明治になり、富国強兵のため、医学は西洋医学一辺倒で、漢方は一時風前の灯火となりました。戦後昭和51年に漢方方剤エキスが健康保険に採用されたあと、徐々に漢方を臨床に用いる医師が増加しました。現在では、医師の9割が漢方薬を処方した経験があるといわれます。

現在の漢方は主としてエキス製剤と呼ばれる顆粒、細粒となったものが中心です。エキス製剤は、本来毎日生薬を煎じて飲むものであった漢方を持ち運びが簡単に出来、服用も簡単にしました。現在の漢方の隆盛もこのエキス製剤によるところが大きいと考えられます。このエキス製剤は日本発祥です。これも漢方が日本独特であると考えの一つの理由です。

もう一つは、診察法です。漢方医学では、四診と呼ぶ診察法を行います。望診、聞診、問診、切診の4つです。切診のうちで、腹診と呼ばれる腹部診察を重視するのが日本漢方の特徴です。腹部の状態をみて、どの漢方薬を使うか、決め手になることもまれではありません。一方中国において、あるいは日本でも中医学を専門とする医師は腹診を一般的には行わず、脈と舌で診察をします。おそらくは儒教思想によるものと推察されます。

◇ ビジター紹介

山口(晃)委員長
水戸東RC 大河内信弘 会員

◇ ゲスト紹介

研究学園ななほクリニック 小野 真吾 氏

◇ 会長の時間

高沢会長
平和構築と紛争予防月間

2014年のR I理事会で、2月が「平和構築と紛争予防月間」となりました。2月23日は国際ロータリー創立記念日ですが、ロータリー創立の2月に国際理解と世界平和を深めよう、という趣旨とのことです。もともと、1957年に「世界理解週間」が制定されたのですが、2月ではありませんでした。その後変更され、最終的に1981年に2月が「世界理解月間」と定められました。なお、ロータリーには4つの大きな目的が上げられていますが、その4番目として、「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進する」ことがあげられ、また、ロータリ定款にも随所にその理念が語られています。

一つの方法で平和を得ることは出来ないと思いますが、たゆまぬ奉仕の信念が紛争の解決や平和の維持を導く、ということかもしれません。

◇ 出席報告

渡邊委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
113名	56名	57名	53.85%

前週訂正出席率 78.90%

前々週訂正出席率 81.31%

◇ 会員メイクアップ

- 1/28 東京米山2750REC 石井 隆志
- 1/29 東京米山2750REC 秋山 現信
- 1/30 水戸東RC 秋山 現信
- 2/2 第4分区IM 長野 久嗣、川名 信博
北海道2500REC 藤本 淳

2/7 水戸南RC 横須賀満夫

2/9 第3分区IM

- 高沢 彰、片岡 宗巖、井上 壽博、
- 荒川 繁美、二川 泰久、白田 礼治、
- 幡谷哲太郎、秀 洋一、鎌倉 孝光、
- 香嶋 貴、川名 信博、川崎 隆一、
- 小泉不二夫、久保田真樹、牧 厚志、
- 松本健一郎、内藤 学、中原 常雄、
- 西 修、齊藤 佳昭、佐藤平八郎、
- 高貫 修、高原 裕、谷川 好一、
- 土子 仁志、安 圭一、横須賀 靖

2/11 タイ・ノンクーンRC 成田 浩明

2/13 第3回諮問委員会 井上 壽博

◇ にこにこBOX

荒川委員
杉本会員……私と妻の誕生日を頂き、有難うございました。

藤本会員……お誕生日のお祝いありがとうございます！

秀会員……誕生日祝いを頂きました。ありがとうございます。

川崎(洋)会員……妻の誕生日に際し、お祝いの品を有難うございます。

和田(徹)会員……妻の誕生日祝いありがとうございます。

本日の合計	5件	30,000円
-------	----	---------

◇ 米山BOX

横須賀 靖会員……米山功労者献金
(第1回) 10,000円
(累計 110,000円)

この計	1件	10,000円
-----	----	---------

◇ 幹事報告

片岡幹事

1. 2020~2021年度の地区大会は、10月17日(土)・18日(日)に、つくばノバホール、オークラフロンティアホテルつくばにて開催されます。ご予約をお願い致します。

2. 歴代会長幹事会が開催されます。関係会員の方々ご出席をお願い致します。

と き 3月7日(土) 18:30

ところ 三の丸ホテル

議 題 上半期クラブ運営報告及び下半期
クラブ運営について

会 費 10,000円

3. 2019年度米山記念奨学生期間修了式開催のご案内が来ております。

と き 3月14日(土) 10:00~15:00

ところ つくば山水亭

つくば市小野崎254

TEL 029-855-8181

出席者 米山奨学生 孫 寒さん

安 圭一 米山奨学委員長・米山
カウンセラー

ロータリーの変革と成長の機会に 目を向ける

次期RI会長が2020-21年度会長テーマを 発表

国際ロータリー会長エレクトであるホルガー・クナーク氏(ドイツ、ヘルツォークトウム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ所属)が、1月20日、サンディエゴ(米国カリフォルニア州)で開催中の国際協議会で講演し、人生や地域社会を豊かにするためにロータリーが与える機会をとらえるよう呼びかけました。

クナーク会長エレクトは、次期地区ガバナーに向けて2020-21年度会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を発表。ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、「無限の機会への招待」であるとクナーク氏は述べました。

7月1日に会長に就任するクナーク氏は、奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を拓くのがロータリーであると力説しました。

「奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると、私たちは信じている」とクナーク氏。また、ロータリーはリーダー

シップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる、クナーク氏は述べます。「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています。」

未来のための変革

クナーク氏はさらに、ロータリーの発展のために変革を受け入れるよう会員に強く促しました。会員数を増やすために数字にこだわるのではなく、持続可能かつ有機的なかたちで成長できる方法を考えるよう求め、現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募ることにクラブが注力すべきであると述べました。

この機会をとらえてロータリーを
成長させ、より強く、適応力を高め、
中核的価値観により沿った
ロータリーとなるのです

ホルガー・クナーク
国際ロータリー会長エレクト



週報担当 香嶋 貴 委員長

例 会 予 告

3月3日(火)

— イニシエーションスピーチ —
卓話「エネルギーについて」

秋葉 良孝 会員

3月10日(火)

— イニシエーションスピーチ —
卓話「沖縄と本島と水戸」

本島 康雄 会員

3月17日(火)

卓話「スポーツによる地方創生
～茨城ロボッツの挑戦～」
株茨城ロボッツ・スポーツエンターテイメント
山谷 拓志 氏